

## V 事業報告

### 1 多文化共生社会の実現

外国人児童生徒の学習や地域社会への参画等にかかる課題を解決するとともに、外国人県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを進める事業を実施した。

#### (1) 外国人児童生徒への学習支援

##### ① 外国人児童生徒の居場所づくり事業 (28 決算額 5,616千円)

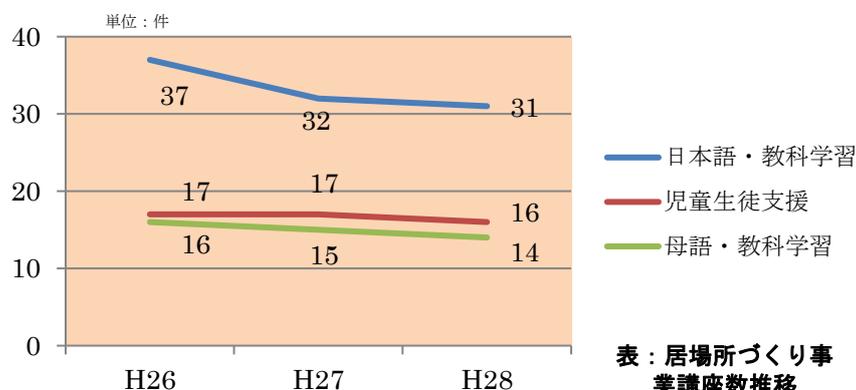
※決算額については、事業総額により記載

#### 【実施状況】

外国人児童生徒に対する日本語・教科学習支援、自己アイデンティティ確立のための母語・教科学習支援と併せて、日本の生活習慣や文化慣習等を学ぶ機会を提供する居場所づくりを地域の団体と協働実施



写真：日本語による教科学習教室  
(姫路市内)



#### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語・教科学習教室 31講座 (計画31講座) (進学に向けた教科学習集中支援教室を含む)</li> <li>○母語・教科学習教室 14講座 (計画15講座)</li> <li>○その他児童生徒支援 16事業 (計画25事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔内訳 ・先輩に聞こう 4事業 (計画 5事業)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころと進路のカウンセリング 5事業 (計画10事業)</li> <li>・活動支援 7事業 (計画10事業)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語教室・教科学習教室、進学に向けた教科学習集中教室、及び母語教室・教科学習教室を計画どおり実施 ボランティア団体等との協働により県内各地における外国人県民の居場所づくりに寄与した。</li> <li>○事業の効果的な実施を今後も継続して検討 年度当初に、地域の日本語・教科学習教室を集めた情報交換・勉強会を開催し、各教室の横の連携やスキルアップを図ったところ好評。依然として、ボランティア団体等の多くが人的、財政的な基盤が脆弱であるため、今後も安定継続した活動運営支援の意義は大きく、他の支援策とも組み合わせた柔軟なプログラム運営を検討する。</li> <li>○急増するベトナム人等への支援を地域とともに検討 急増するベトナム人等在住外国人支援に、地域の日本語・教科学習教室が十分な対応と機動力を発揮できていない実体があるため、今年度から新たなスキームを地域と共に検討していく。</li> </ul>

② 外国人児童生徒への日本語・学習支援研修会の開催(28 決算額 208千円)

【実施状況】

外国人児童生徒支援者等を対象に、日本語学習や教科学習の効果的な支援方法、日本語教育そのものに対する理解を深める研修会を開催



写真 養成講座 左：第1回 右：第2回

【事業評価】

実績	<p>○日本語・学習支援者養成講座 2講座（計画 1講座）</p> <p>[第1回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 期 2月4日(土)</li> <li>・参加者 56名（学校教諭、日本語・母語教室関係者、学生等）</li> <li>・内 容 「外国につながるのある子どもの学習上のつまづきを支えるには？ ～ひと工夫による学習支援を考えよう～」 講師：山田恵美子 大泉町教育委員会外国人子女教育コーディネーター</li> </ul> <p>[第2回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 期 2月25日(土)</li> <li>・参加者 49名（学校教諭、日本語・母語教室関係者、学生等）</li> <li>・内 容 「外国につながる子どもの書く力の発達と、書く力を育てる学習支援」 講師：清田淳子 立命館大学文学部コミュニケーション学域教授</li> </ul>
評価	<p>○増大する外国人児童生徒への支援ニーズに対応</p> <p>日本語能力が不十分であることから学習上でつまづく外国人児童生徒が増加しているなか、学習支援方法の工夫や書く力の重要性について、参加者と共有し、考える機会が提供できた。</p>

③ 母語教育支援研修会の開催(28 決算額 321千円)

【実施状況】

県内母語教育関係者を対象に母語教育への理解を深める研修会を開催



写真 左：研修会 右：母語教育経験者公開座談会

**【事業評価】**

実績	<p>○母語教育支援研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 3月25日</li> <li>・参加者 30名</li> <li>・内 容 「二つ以上の言語環境で生きる子どもたちへの支援について」</li> </ul> <p style="text-align: center;">講師：橋本昌樹 翻訳家 落合知子 神戸大学国際人間科学部研究員</p>
評価	<p>○二つ以上の言語環境で育つことをポジティブに捉える事例を紹介</p> <p>アメリカや韓国での実践研究の紹介に加え、社会で活躍している母語教育経験者を招いた公開座談会を行ったことで、二つ以上の言語環境で育つことを人生のプラスにしていっていった経験談を参加者と共有する機会が提供できた。</p> <p>○母語教育経験者からの生の声を共有</p> <p>参加者からは、「母語教育の重要性は理解していたが、必要性をあらためて認識した」、「貴重な体験談を聞くことができた」などの意見が寄せられ、母語教育経験者からの生の声を提供できたことは非常に有意義であった。</p>

**(2) 日本語教育の推進**

**① 日本語教育指導員等の配置 (28 決算額 13,161 千円)**

**【実施状況】**

「外国人県民対象日本語講座」や「すぐに役立つ日本語講座」の運営、地域日本語教室での日本語教育に対するアドバイスやボランティア養成の支援など HIA が推進する日本語教育指導員等を配置

**【事業評価】**

実績	○日本語教育指導員、日本語教育補助員、生活日本語推進員 各1名
評価	<p>○日本語教育推進のための基盤となる人材</p> <p>HIA主催日本語講座の運営をはじめとする日本語教育推進に関わる7事業の企画・実施について専門職として担当しており、地域日本語教育の振興に必要不可欠である。</p>

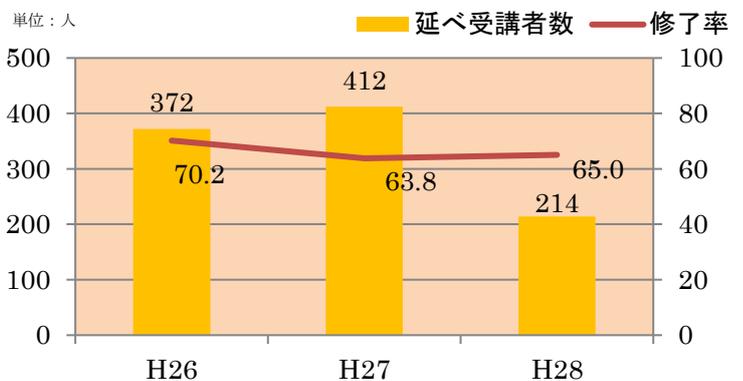
**② 外国人県民日本語講座の開催 (28 決算額 2,698 千円)**

**【実施状況】**

外国人県民の日本語能力向上のため、春期と秋期に日本語講座を開設・運営



写真：講座の様子



表：延べ受講者数・修了率推移

※出席率が70%以上の者に修了証書を授与。

**【事業評価】**

実績	<p>○外国人県民日本語講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期 5月9日(月)～7月1日(金)</li> <li>・第2期 10月13日(木)～12月8日(木) 受講者107名(定員120名) 18:30～20:30</li> <li>・時間数 32時間/期(基本週2日)</li> <li>・クラス数 6クラス(入門・初級(4)、初中級(2))</li> <li>・受講料 2,000円/期</li> <li>・受講者数 第1期 107名(計画120名) 第2期 107名(計画120名)</li> </ul>
評価	<p>○ニーズに応じた日本語講座を提供</p> <p>28年度から開催時期を年間2期とした。就労者でも受講しやすい平日夜間に開催される安価で質の高い講座として定評があり、受講者は計画数をほぼ達成した。</p> <p>日本語を基礎から学ぶ文型積み上げ式の当講座と実用的な日本語を学ぶ「すぐに役立つ日本語講座」を有機的に実施し、引き続き、日本語の基礎力と生活で生かす力の双方を高めることに取り組んでいく。</p>

**③ 「すぐに役立つ日本語講座」(夏期集中講座)の開催(28 決算額 570千円)**

**【実施状況】**

日常生活で役立つ日本語を優先効率的に学習したいというニーズに対応するため、生活場面と密着したコミュニケーション能力の習得に資する講座をHIAにおいて夏期集中講座として開設



写真：災害に関わる日本語を学ぶ

**【事業評価】**

実績	<p>○夏期集中講座(「すぐに役立つ日本語講座」)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 7月11日(月)～8月4日(木)(18日間) 9:00～12:00</li> <li>・時間数 60時間</li> <li>・クラス数 2クラス(レベル別)</li> <li>・受講料 4,000円/期</li> <li>・受講者数 29名(計画40名)</li> </ul>
評価	<p>○防災をはじめ様々な分野での外国人県民の対処能力向上に寄与</p> <p>日本語学習の多様なニーズに対応するとともに、防災なども含む日常生活に必要な日本語習得を促すため、すぐに役立つ日本語講座を夏期に集中して展開。日本語の学習と併せて生活知識も学ぶことで、生活場面での対処能力も養成された。</p> <p>学生や短期滞在者も受講できることから好評であるが、受講者が計画数に達していないため、受講者のニーズを踏まえて、実施時期、周知方法などについて検討していく必要がある。</p>

④ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援(28 決算額 5,568千円)

【実施状況】

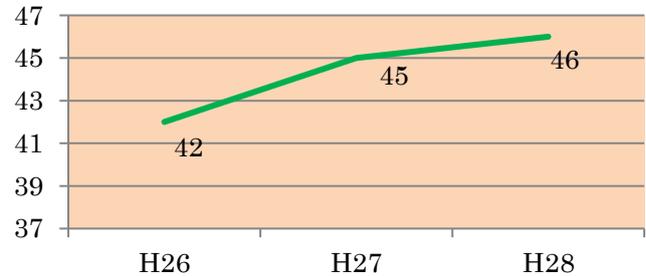
地域ボランティア団体等と共催して外国人県民の居場所となる日本語教室を県内各地で展開



写真：地域日本語教室（神戸市）

単位：件

表：講座数推移



【事業評価】

実績	○講座数 46講座 (計画 45講座)
評価	○県内各地で外国人県民と地域をつなぐ拠点として機能 地域ボランティア団体等と共催して外国人県民の居場所となる日本語教室を県内各地で展開した。日本語学習に加えて、季節行事や各国料理教室、地域イベントへの参加など地域と外国人県民が交流する活動を各団体と協働して実施していくことで、多文化共生の地域づくりを推進、外国人県民が地域で安心して暮らせる拠点づくりが進んだ。

⑤-1 セーフティネットとしての地域日本語教室開設(28 決算額 150千円)

【実施状況】

日本語教室の未設置市町・同国際交流協会等と連携し、緊急時には安否確認や情報提供等を併せて行うことができる、セーフティネットとしての日本語教室の設置を推進

写真：神河町日本語教室開設



【事業評価】

実績	○実施箇所 神河町 (計画1箇所)
評価	○県内の日本語教室未設置市町が解消。運営の安定化に向け継続支援 神河町での開設事業が完了し、県内の日本語教室未設置市町が解消した。ただし、当面は地域日本語教室運営強化事業として、支援を継続することが必要。

⑤-2 セーフティネットとしての地域日本語教室運営強化事業(28 決算額 865千円)

【実施状況】

地域日本語教室は多文化共生の最前線であり、間もなく県内の全ての市町に教室が設置されようとしていることから、多文化共生の現状と課題、地域日本語教室の役割、コミュニケーション手段として有効なやさしい日本語について学ぶための研修会を開催



写真 : 9 地域合同研修

【事業評価】

実績	<p>○開設事業を終えた8市町の日本語教室に対して運営強化支援を実施 2年間のセーフティネットとしての地域日本語教室開設事業を終えた相生市、佐用町、市川町、太子町、福崎町、多可町、香美町、新温泉町の8市町の日本語教室に対して、運営強化支援を実施。 日本語教室の継続開催支援を行うとともに、要望に応じて、日本語教育指導員等の派遣によるフォローアップ研修や助言を行うほか、神河町を含む9市町の日本語教室を対象とした合同研修会を開催。</p> <p>【フォローアップ研修】</p> <p>&lt;相生市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：7月30日(土) 10:00～16:00</li> <li>・場 所：相生市総合福祉会館</li> <li>・内 容：新規ボランティア養成研修 受講者：12名</li> </ul> <p>&lt;佐用町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：9月24日(土) 13:00～16:30</li> <li>・場 所：さよう文化情報センター</li> <li>・内 容：支援者のスキルアップ研修 受講者：14名</li> <li>・日 時：2月19日(日) 13:10～16:10</li> <li>・場 所：さよう文化情報センター</li> <li>・内 容：支援者のスキルアップ研修 受講者：15名</li> </ul> <p>【合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 3月11日(土)</li> <li>・会 場 国際健康開発センター</li> <li>・参加者 11名</li> <li>・内 容 各教室の進捗状況の共有、課題解決演習(グループワーク)</li> </ul>
評価	<p>○継続的な教室運営のために、研修や助言、教室間の情報交換が重要 ボランティアの養成やスキルアップのために、引き続き、HIA主催研修会の開催や助言が必要。 合同研修会は、教室の無かった地域や開設間もない教室の共通課題などを市町域を超えて共有し、話し合える場として、好評を得ている。</p>

⑥ 日本語学習支援アドバイザー派遣事業(28 決算額 473千円)

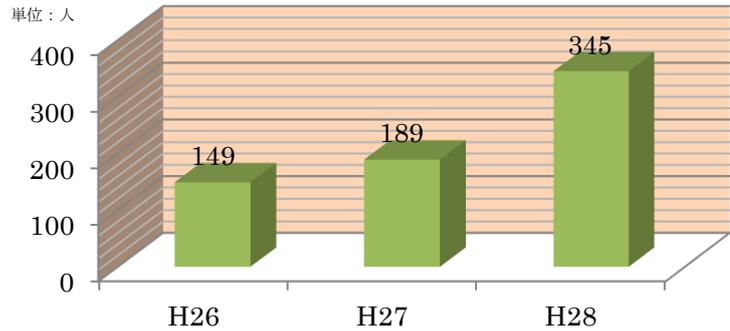
【実施状況】

外国人県民に対する日本語学習支援者の養成及び団体への助言



写真：アドバイザー派遣事業（丹波市）

表：延べ参加者推移



【事業評価】

実績	<p>○要望のあった地域日本語教室にアドバイザーを派遣            [派遣実績：16団体70時間（計画12団体程度60時間）]            篠山国際理解センター（9月）、淡路市国際交流協会（10月）、宍粟市国際交流協会（7月）、こくさいひろば芦屋（7月、10月）、姫路市文化国際交流財団（10月、12月）、ハロー日本語（9月、10月）、播磨町国際交流協会（9月）、多文化センターまんまるあかし（11月）、猪名川町国際交流協会（9月）、伊丹市国際・平和交流協会（11月）、芦屋市国際交流協会（10月）、六甲奨学基金・日本語サロン（11月）、明石市国際交流協会（10月）たつの市国際交流協会（1月）小野市国際交流協会（1月、2月）、丹波市国際交流協会（2月）</p>
評価	<p>○学習支援ボランティアのスキルアップや課題解決に必要な不可欠            県内各地の教室からのニーズが高く、計画数以上の派遣となった。ボランティアが中心に運営を行っている地域日本語教室では、日本語教育能力の有資格者がほとんどいないのが現状であり、アドバイザー派遣が学習支援方法や運営の改善に役立っているとの声が高い。            H I A登録日本語教師の派遣による支援を引き続き強化していくとともに、地域単位の日本語教室のネットワーク化を促進することにより、日本語教室が相互にノウハウや課題解決方法を共有できる事業展開を工夫していく必要がある。</p>

⑦ 日本語教育研修会開催事業(28 決算額 170千円)

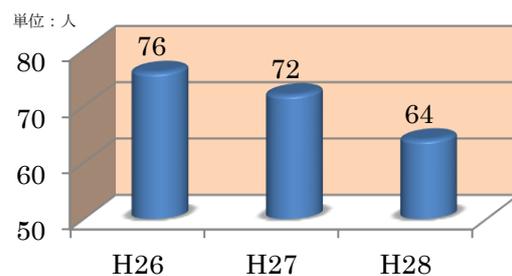
【実施状況】

日本語教師や日本語学習支援ボランティア、学校関係者等を対象に、日本語教育についての理解を深めるための研修会を開催



写真：講演会の様子

表：参加者推移



**【事業評価】**

実績	<p>○日本語教育研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 1月21日（土）</li> <li>・会 場 国際健康開発センター</li> <li>・参加者 64名</li> <li>・内 容 「対話中心の日本語学習支援とは？」 ～対話をとおして日本語力を身につける活動を考えよう～ 講師：御館久里恵 鳥取大学国際交流センター日本語・日本事情教育分野 准教授</li> </ul>
評価	<p>○外国人学習者と向き合う支援者に支援方法を改めて考える機会を提供</p> <p>日本語教師や日本語学習支援ボランティアを対象に、日本語学習支援における「対話」（コミュニケーション）の重要性について改めて考え、実感する研修会となった。</p> <p>学習者の立場や、学習者と支援者のやりとりを観察する実習など、日頃の学習支援の現場では体験できない場面を通じて、引き続き、効果的な支援方法について参加者一人ひとりが考える機会を提供していく。</p>

**⑧ 地域日本語教室リーダーの養成事業(28 決算額 1,503千円)【28新規】**

**【実施状況】**

地域日本語教室は、日本語学習の場として、あるいは交流の場として重要な役割を担っており、日本語学習環境の整備や地域の国際化の推進に大きく寄与している。この活動を活性化し、長期的に継続することを目的として、日本語教室のリーダーの養成研修を実施した。



写真 左：個別実践研修（新温泉町） 右：意見交換会の様子

**【事業評価】**

実績	<p>○地域日本語教室リーダー養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 期 7月3日（土）～12月17日（土）</li> <li>・場 所 豊岡市民プラザ、但馬地域地場産業振興センター</li> <li>・参加者 43名（但馬地域5市町6教室のボランティアスタッフ） ※情報交換会には行政担当者17名も参加</li> <li>・内 容・各教室の状況調査・課題について事前ヒアリングの実施 ・運営方法・学習支援方法についての合同研修会 4回 ・各教室の個別実践研修 各2回 ・まとめ・振り返りと教室間の共有 ・行政担当者（防災、雇用、福祉、観光等）との情報交換会</li> </ul>
----	--

評価	<p>○地域日本語教室間のネットワーク構築と地域行政との繋がりを促進</p> <p>地域日本語教室の運営や活動を担うリーダー養成講座を但馬地域で実施。3市2町の6教室のボランティアが参加し、運営面での課題解決に向けて取り組むとともに、学習支援方法の研修でスキルアップを図った。</p> <p>最終日に実施した情報交換会では、域内の行政担当者も参加し、外国人県民と地域を繋ぐ際のことばや生活をめぐる課題について情報を共有することで地域日本語教室と地域行政との繋がりに貢献した。</p>
----	---

### (3) 外国人県民への生活支援

#### ① 外国人県民インフォメーションセンターの運営 (28 決算額 24,756 千円)

##### 【実施状況】

外国人県民生活相談の実施

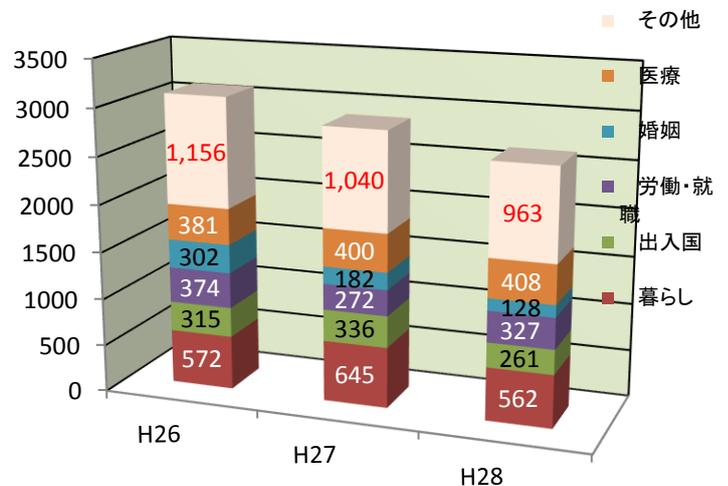
外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、相談員による4言語の生活相談及び弁護士による専門相談を実施

単位：件

表：相談内容別推移



写真：センター内



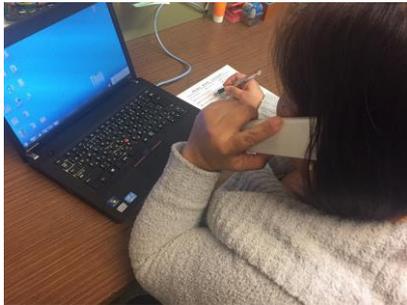
##### 【事業評価】

実績	<p>○生活相談及び法律相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活相談 相談員5名（英語、中国語、ポルトガル語各1、スペイン語2）</li> <li>法律相談 弁護士（兵庫県弁護士会所属 週1回）</li> </ul> <p>○相談件数 2,649件（27年度2,875件）</p> <p>○ブログによる支援・生活情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧数 435件、訪問者数 83人（H29.5.7～5.27の1日当たり平均）</li> </ul>
評価	<p>○関係機関との連携強化による相談体制の充実</p> <p>日本語能力の向上や他機関の相談体制の充実等により、相談件数は前年度比7.9%減少しているが、「労働相談」が対前年度比130.9%となり、労働条件や解雇などの労働契約に関する相談が増加している。</p> <p>相談内容は「暮らし」、「医療」、「労働・就職」の順に多く、内容は多岐にわたっているため、公的機関や外国人県民の生活に関連のある機関など36団体で構成する「外国人県民相談ネットワーク推進会議」を開催するなど関係機関との連携を深めることにより、情報を共有しながら迅速な問題解決につながった。法律相談については、相談枠があるためHIAのホームページで法律相談の予約受付状況の周知を行っている。</p> <p>○外国人支援のための情報提供</p> <p>典型的な相談内容等を「兵庫県外国人県民インフォメーションセンター便り」というブログで情報提供することにより、外国人県民支援をしている団体等の活動に資することができた。</p>

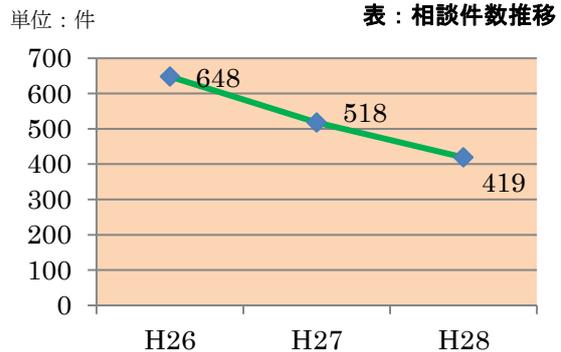
② NGO と連携した外国人県民相談活動の実施 (28 決算額 1,992 千円)

【実施状況】

NGO 等と連携し、地域で必要となる暮らしや健康・医療などの身近な相談を実施



写真：電話相談の様子



【事業評価】

実績	<p>○実施団体 2 団体 計 419 件 (計画 2 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NGO 神戸外国人救援ネット 181 件 (英語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語)</li> <li>・ 特定非営利活動法人篠山国際理解センター 238 件 (英語・ポルトガル語)</li> </ul>
評価	<p>○相談内容の複雑化、多様化に伴い、ますます必要性が増大</p> <p>外国人県民インフォメーションセンターで対応できない言語や時間帯の相談に応じており、日本語能力や生活情報が不十分な外国人県民の安全・安心の構築に役立った。</p> <p>相談件数は年度や時期によって増減するが、定住化の進行に伴い、複雑な内容や、専門家との連携が必要なものなど 1 件あたりの対応に時間を要する内容が増加しているため、今後も状況に応じた相談活動が提供できるよう留意していくことが必要。</p>

③ 多言語生活ガイドホームページの運営 (28 決算額 他事業で計上)

【実施状況】

外国人県民が日本で生活する上での生活情報を掲載した多言語生活情報ガイドホームページを運営

【事業評価】

実績	<p>○10 言語による生活情報の掲載 (計画 10 言語)</p> <p>(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語)</p>
評価	<p>○必要な情報にアクセスしやすい構成</p> <p>医療機関情報や相談窓口一覧、地域の日本語教室リストに加え、総務省や法務省など異なる組織のサイトへのリンクを一元的に掲載するとともに、自治体国際化協会で整備された汎用性の高い多言語生活情報へリンクすることにより、特にニューカマー等の外国人の利便性を高めている。</p>

④ 外国人県民生活サポート活動の支援(28 決算額 3,604 千円)

【実施状況】

外国人コミュニティによる生活相談や情報提供などの生活支援活動、子どもに対する母語教室の開催等を支援



写真 母語教室の様子

【事業評価】

実績	<p>○支援団体 3 団体 (計画 3 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム夢 KOBE (母語・母文化教室 (延べ生徒数 375 名)、生活相談、情報誌発行等)</li> <li>・NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK (母語・母文化教室 (延べ生徒数 1,328 名)、情報誌発行等)</li> <li>・ひょうごラテンコミュニティ (母語・母文化教室 (延べ生徒数 384 名)、生活相談、情報誌発行等)</li> </ul>
評価	<p>○外国人コミュニティの活動充実に必要不可欠な支援</p> <p>県内の外国人コミュニティの中でも小規模なベトナム、ブラジル、スペイン語圏のラテン系の団体に対して、子どもに対する母語教室や母文化を継承するイベント、生活相談等コミュニティが担っていくべき活動の安定化を支援した。</p> <p>同じ言語や共通する文化を持つ拠り所として、コミュニティが行っている母語教室や生活相談といった外国人県民の安全・安心につながっている。</p>

⑤ 多文化共生を考える研修会の開催(28 決算額 1,186 千円)

【実施状況】

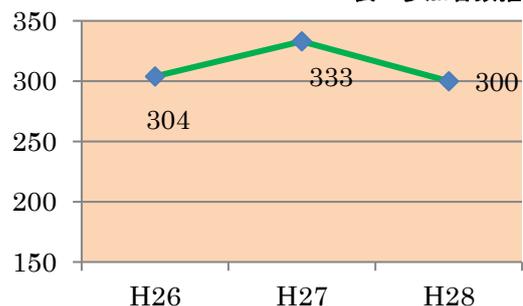
外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等を対象に、多文化共生について理解を深めることができる研修会をNPOと協働で開催



写真：研修会の様子

単位：人

表：参加者数推移



【事業評価】

実績	<p>○多文化共生を考える研修会の実施 (計画 4 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 期 8月17日(水)、19日(金)、22日(月)、26日(金)</li> <li>・参加者数 延べ300名</li> <li>・場 所 国際健康開発センター、海外移住と文化の交流センター</li> <li>・内 容 (1)【総論】 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「外国にルーツを持つ人たち取材して」</li> <li>②「ひょうご多文化共生社会推進指針について」</li> <li>③「これからの多文化共生への取り組み」</li> </ul> </li> </ul>
----	---

	<p>(2) 【外国にルーツを持つ子どもの教育】</p> <p>① 「浜松における外国にルーツを持つ多様な子どもたちの現状と課題、そして未来」</p> <p>② 「兵庫県における子どもの多文化共生教育について」</p> <p>(3) 【世界の難民・移民とシティズンシップ】</p> <p>① 「トルコのシリア難民の現状と取り組み」</p> <p>② 「ドイツ在住トルコ系移民の文化と地域社会」</p> <p>(4) 【外国人当事者のエンパワメント】</p> <p>① 「被災地福島に移住女性と子どもたち」</p> <p>② 「中国帰国者コミュニティのサポート事業」</p>
評価	<p>○多文化共生、異文化理解、外国人支援に関わる多彩なテーマで開催</p> <p>外国にルーツを持つ人々を彼らの目線で継続的に取材された内容、学生など若者が中心となった外国にルーツを持つ子どもの教育の取組、世界的に関心の高まっている移民・難民問題のほか、被災地や中国帰国者の事例から今後の多文化共生社会づくりで注目される外国人当事者自身のエンパワメントについて取り上げ、多文化共生社会づくりについて様々な視点から考えるきっかけづくりができた。</p>

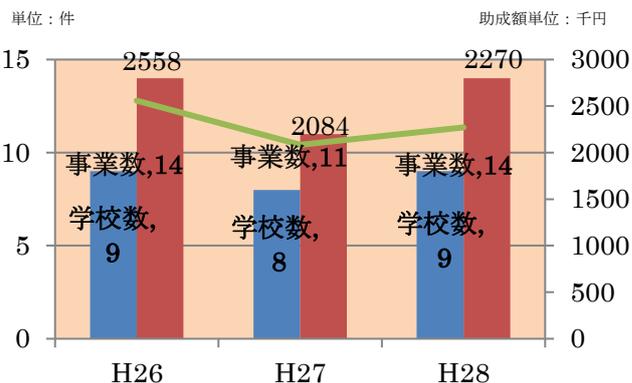
⑥ 外国人学校交流の推進 (28 決算額 2,271千円)

【実施状況】

県内外国人学校が行う自然学習活動に対する助成を実施



写真：地域小学校生徒との交流



表：助成実績推移

【事業評価】

実績	○助成件数 14件 2,270,000円 (計画 15件)
評価	<p>○外国人児童生徒と地域住民との交流、兵庫県への理解促進に寄与</p> <p>県内外国人学校12校のうち、申請のあった全9校に助成（3校は幼児教育中心または高等学校であるため対象外）。兵庫県が県下の全公立小学校で実施している「自然学校」と同等の機会を外国人学校に通う生徒にも提供することで、野外活動や地域の人々との交流を通じた健全な青少年の育成と豊かで多様な自然を有する兵庫県への理解促進に寄与した。</p>

## 2 交流人口の拡大

草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進める事業を実施した。

### (1) 国際交流の推進

#### ① ひょうご国際プラザの管理・運営(28 決算額 129,859千円)

##### 【実施状況】

国際情報センターにおける各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ」を管理、運営

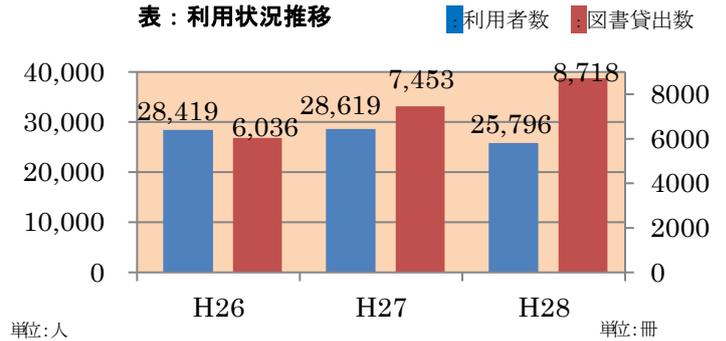


写真：プラザの様子



写真：イベント(世界のことばで楽しむ絵本・カエルをさがそう!)の様子

表：利用状況推移



##### 【事業評価】

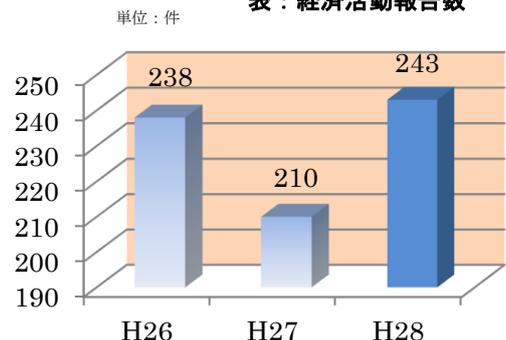
実績	○利用者数 25,796人 ○図書貸出数 8,718冊
評価	○イベント開催による利用者数等の増加 27年度から、夏休み・冬休み期間に子どもを対象としたイベント(子ども英会話教室等)を実施している。その参加者が図書館の利用者となるなどプラザ利用の促進につながり、図書貸し出し数も大幅に増加した。また、近隣の学校等にもプラザの存在を積極的にPRするなど、今後も様々な機会にプラザ利用のPRを図る。

#### ② 海外事務所の運営(28 決算額 172,845千円)

##### 【実施状況】

世界の活力を兵庫に呼び込む窓口として、また、海外における県内企業の海外進出等の支援を行う拠点として、さらに、学术交流、文化交流など幅広い分野での交流を、海外5事務所(シアトル、パース、パリ、ブラジル・クリチーバ、香港)で実施

表：経済活動報告数



## 《兵庫県ワシントン州事務所：シアトル》



和太鼓ワークショップ



日本酒プロモーション

### ○経済交流

ワ州周辺での販路開拓を図る県内企業（日本酒・ハム・そば・和ろうそく等）の支援を行った。日系スーパー等でのプロモーションや特別メニューを和食レストランと共に考案して提供するなど、きめ細かい支援が好評であった。

### ○日本文化紹介

兵庫県を中心に演奏活動をしている木村優一氏が、7月に州内の小学校・大学等で実施した。実演と体験を通して、和太鼓の魅力を伝えられた。

### ○各種交流の実施

インターン大学生の受入れ、姉妹提携先の年次総会に出席する等、教育交流・姉妹提携交流の促進にも注力している。

## 《西オーストラリア州・兵庫文化交流センター：パース》



三木刃物の販売支援



現地学校を訪問し書道パフォーマンス

### ○経済交流

県内企業の進出が少ないため、試食など来場者が直接体験するプロモーションが効果的であり、今年度は切れ味を実演する三木刃物の販売を支援した。

### ○日本語教室・日本文化紹介

継続的に日本語教室を開催しており、現地の小中高校生を事務所に招き、日本語・日本文化に触れる機会（スクールビジット）の提供、日本映画の上映（フィルムナイト）など、事務所スペースを活かした事業を展開した。

### ○教育交流

28年度は、最盛期の7～8月に県立高校24校を始め小中生など計341名が西豪州を訪問し、ホームステイと英語授業など異文化体験を満喫した。

## 《兵庫県パリ事務所》



国際展示会の兵庫ブースと関係者



日本人創立の柔道場で練習する学生

### ○経済交流

欧州の中心地パリで年中開催されている見本市への県内企業の関心は高く、消費流通課・工業振興課等とも連携し企業・団体の出展を数多く支援した。ジャーナリスト協会ではひょうごの魅力を紹介するなど観光交流も行った。

### ○友好交流

仏日自治体交流会議への出席を契機に金澤副知事が、アンドル・エ・ロワール県、アヴェロン県、セヌ・エ・マルヌ県を訪問し交流を深めた。また、柔道連盟に対してオリンピック練習地誘致活動を行う等、県のPRに努めた。

### ○ひょうご交流センターを活用した日本文化紹介

今年度もほぼ毎月、茶道教室、ジャポニスム講演、県出身画家の個展等に事務所隣接するセンターを活用して、文化交流事業を展開した。

## 《兵庫県ブラジル事務所：パラナ州クリチーバ》



パラグアイ移住 80 周年記念式典



県若手農業リーダー研修団が県事務所を訪問

### ○友好交流

パラグアイ日本人移住80周年記念式典出席を契機に、荒木副知事がブラジルを訪問し、パラナ州知事との面談等を行い、県人会とも交流した。

### ○事務所における各種交流の実施

恒例の県若手農業リーダー研修団が訪問、県人会有志宅にホームステイするなど新たな交流の試みも行った。

《兵庫県香港経済交流事務所》



タイ国際旅行フェアのひょうごブース



真珠&ジュエリー展での県関連ブース

○経済交流

知事が出席した日本広東経済促進会年次会の開催支援、香港ブックフェア、真珠&ジュエリー展、大連日本商品展など大小様々な展示会への共同出展・出展支援を行った。

○観光交流

中国21世紀海上シルクロード国際博覧会（副理事長が招待参加）へのブース出展、台北・タイでの国際旅行博へも県内企業と共同出展し、観光PRにも注力した。

○その他の交流

県立大の研修団受入れ、文化講演の広報支援などのほか、香港・広州・上海・台北等の県人会とも機会を見つけて交流し、ネットワーク構築に努めた。

評価

○経済交流

出展支援、現地の専門家・ネットワーク紹介など海外事務所ならではの活動は28年度も活発で活動件数は33件増加した。今後とも、販路開拓・進出支援等具体的な成果実現に向けた支援を継続する。

○友好交流

友好先との周年事業がなく大きな代表団の派遣と現地での友好交流が少なかったが、学校交流・教育交流を中心に県内自治体の友好交流を継続支援しており、各レベルでの交流強化がなされている。

○文化交流・県のPR

パース・シアトル・パリを中心に各種文化イベントを実施しており、多くの機会を捉えて県の観光・物産のPRを推進した。県としても、外国人対策の一環として、各海外事務所を国際観光デスクとして位置づけることとなった。

③ 県民交流団の派遣(28 決算額 32 千円)

【実施状況】

平成28年度に予定されていた兵庫県と西オーストラリア州との姉妹提携35周年共同記念行事が平成29年4月に延期されたため、平成28年度中には団員募集のパンフレット等の準備を進めた。

④ ひょうごホームステイ受入事業(28 決算額 264千円)

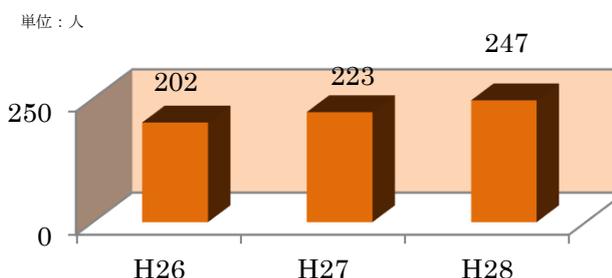
【実施状況】

安全・安心にホームステイ受入が可能となるシステムを構築



写真：東南アジア青年の船

表：登録家庭数推移



【事業評価】

実績	<p>○ホームステイ等受入コーディネートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入人数 164名 (受入家庭数延べ 99家庭)</li> <li>・登録家庭数 247家庭 (27 223家庭)</li> </ul>
評価	<p>○受入者数（ホームステイの受入依頼者数）の減少が課題</p> <p>広報紙ComeHIA、メールマガジン等でPRに努めたところ、ホームステイボランティア登録家庭数、受入者数、受入家庭数の全てで増加した。今後も様々な機会を捉えてホームステイの機会を創出し、草の根交流を推進していく。</p>

⑤ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援(28 決算額 6,241千円)

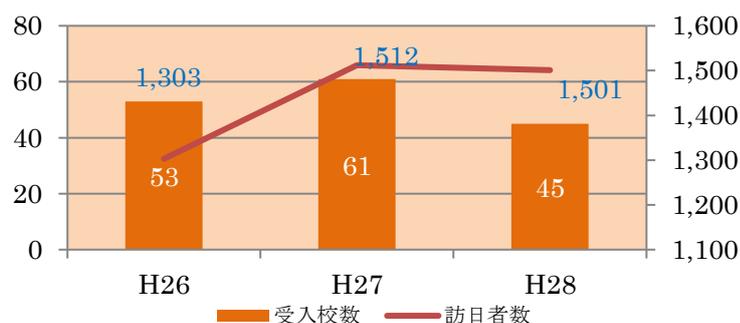
【実施状況】

若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫のファンづくり、国際理解・国際交流の推進を目指し、訪日教育旅行における学校交流等の受入を実施

表：受入校及び訪日者推移



写真：タイからの訪問



【事業評価】

実績	○受入校／訪日人員 45校／1,501名
評価	<p>○安定した受入人数・件数</p> <p>全国有数の受入規模が続いている。誘致・促進のため、関係機関を含めて、今後一層の努力を行う。</p> <p>○全ての学校種別で学校交流の実施</p> <p>公立・私立を問わず幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校など幅広い学校種別で、訪問校受入校ともに満足できる交流が実施できた。今後は繁忙期（4～7月、10～11月）の受入体制を拡充するとともに、繁忙期以外にも訪日を検討してもらえるようなプロモーションする等さらなる工夫が必要。</p>

	<p>○学校交流を通じた国際交流の促進 学校交流から姉妹校交流、相互訪問や海外修学旅行に発展する等、国際交流・国際理解教育が着実に進展し、裾野が拡大している。</p> <p>○様々な交流の実現 淡路島民泊事業に加えて、淡路島農業体験やスポーツ交流等によって交流の輪が拡大している。</p>
--	--

⑥ 留学生が見つけた！兵庫観光発信事業(28 決算額 2,040 千円)

【実施状況】

県内留学生等外国人県民を対象に、地域との国際交流により相互理解を深めるとともに、体験した“兵庫県の地方の魅力”をそれぞれの母国語によるHIAのBlog「The Best of Hyogo」への投稿などにより情報発信を行い、その情報をSNSなどから拡散することにより国内外の外国人観光客の誘客による地域創生を支援



写真：座禅体験(豊岡市)



写真：巻き寿司体験(多可町)

【事業評価】

実績	<p>○交流事業の実施 第1回：豊岡市 10月29日(土)～30日(日) 18名 第2回：多可町 2月21日(火)～28日(日) 17名 ・HIAブログへの掲載等 事業実施後、参加者が母国語(11ヶ国語)により体験記をHIAのブログへ掲載した。(平成28年度アクセス数：21,181件)</p>
評価	<p>○外国人県民の誘客による地域創生へ向けた取り組み 当該市町との緊密な連携により、地域の魅力が体験できるバスツアーを実施した。そして、各参加者の母国語による魅力体験記をSNSとの連携により拡散させることにより、兵庫の地域魅力情報を各母国語圏へ直接発信することができた。実施市町から、通訳を介さないプロモーションに手ごたえを感じることもあり、もう一度実施してほしいとの声があった。</p>

⑦ 草の根の国際交流事業の推進(28 決算額 935 千円)

【実施状況】

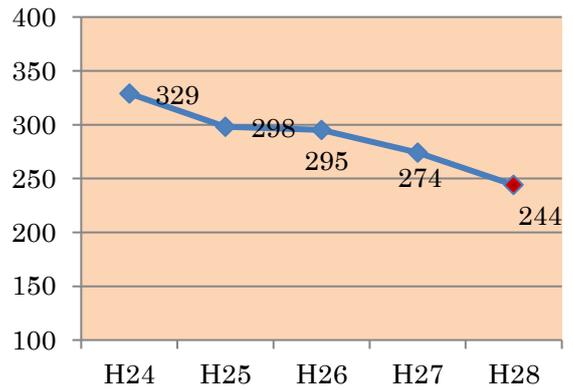
協会事業・活動への支援組織である兵庫県国際交流協会友の会会員を中心に、県民が主体となった多様な草の根国際交流事業を実施



上：バスツアー  
下：食文化交流教室



単位：人 表：友の会会員数(3月末)推移



### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会員数 244名</li> <li>○食文化交流教室(計画 年3回) (オーストラリア料理)6月14日 44名 (ネパール料理)8月24日 39名 (フランス料理)11月17日 41名</li> <li>○オックスブリッジ交流事業 英会話教室 7月25日～29日 延べ76名</li> <li>○バスツアー(北播磨) 10月17日 34名</li> </ul>
評価	<p>○友の会を中心とした草の根活動の推進</p> <p>友の会会員をメインターゲットとした草の根交流事業はすべて定員を上回り、好評を得た。</p> <p>ただ、会員の高齢化などにより会員数がやや減少しているため、今後とも、さらに魅力ある草の根事業の企画を通して、会員拡大につなげていく必要がある。</p>

## (2) 知的交流の推進

### ① 国際協力セミナー等の開催(28 決算額 466千円)

#### 【実施状況】

国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、個別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催

#### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回目 「コーヒーとカカオから始まる国際協力」 時 期： 7月2日 (JICA関西ブリーフィングルーム) 参加者数：186名(延べ)</li> <li>○第2回目 映画DAY「スタッフ・バンダ・ビリリ」 時 期： 11月3日 (JICA関西ブリーフィングルーム) 参加者数：70名</li> <li>○第3回目 「第1部ジャーナリストが見た世界～キルギス、イラク、ヨーロッパ～」 「第2部映画上映会 シリア・モナムール&amp;シリアン・トークセッション」 時 期： 3月11日 (神戸国際会館セミナーハウス) 参加者数：113名(延べ)</li> </ul>
----	---

評価	○県民の国際協力への理解の促進 大学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、県民に国際協力について理解を深める機会を提供できた。
	○JICAとの連携の強化 JICAとの連携事業であり、定期的実施することによりHIAとJICAとの緊密な協力体制を築くことにも寄与している。

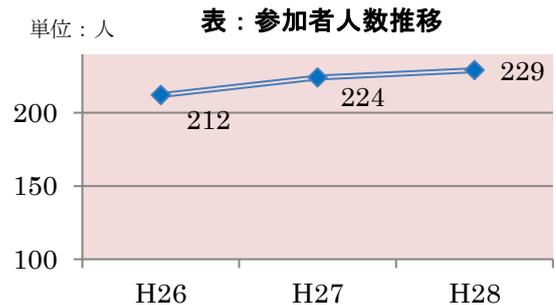
② オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施(28 決算額 2,878千円)

【実施状況】

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施



写真：ウェルカムパーティーの様子



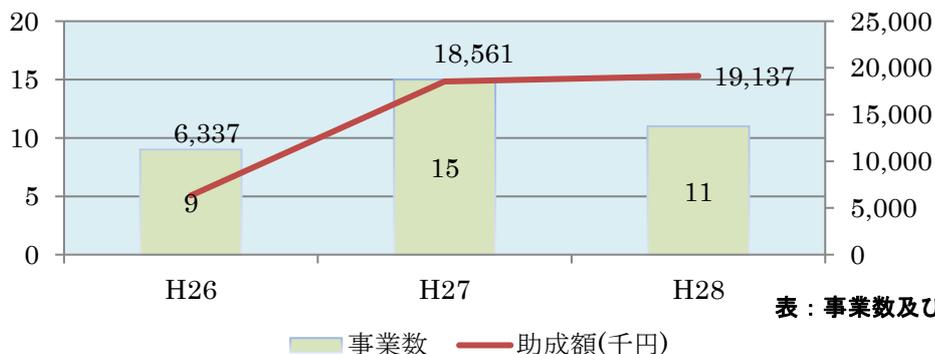
【事業評価】

実績	○参加者 延べ229名(計画 210名) ○実施期間 7月19日～8月20日 ○受入団体/受入学生 9団体/12名
評価	○受入団体の多様化 県内大学や高校での国際理解を深める事業としても定着してきており、今年度も過去最大の人数を受け入れた。 また、事業に参加した市町国際交流協会からも好評を得ており、国際交流団体のネットワーク化にも貢献している。

③ 国際会議開催への助成(28 決算額 19,137千円)

【実施状況】

県立淡路夢舞台国際会議場の開業を機に、国際会議等を誘致し、兵庫県内の国際化と県民の国際交流活動を促進するため、県立淡路夢舞台国際会議場をはじめ、県内で開催される会議開催費の一部を助成



表：事業数及び助成額推移

## 【事業評価】

実績	○助成件数：11件 ○助成金額：19,137千円
評価	○国際会議の誘致促進に貢献 厳しい誘致競争が続くなか、きめ細かな助成メニューを設けた効果等もあり、件数は減少したものの、大型案件の誘致実現により助成額は増加した。

### ④ 国際会議場の活性化への支援(28 決算額 500千円)

#### 【実施状況】

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、美しい自然環境に囲まれた国際会議場を会場に、さまざまな人と交流・体験できる絵画コンクールを、株式会社夢舞台などと共催により開催



写真：コンクール開会式



写真：出展作品へのアドバイス

## 【事業評価】

実績	○こころづくり絵画コンクールの実施 ・実施日等 10月16日 参加者657名（年間計画1回、600名）
評価	○次代を担う子どもたちの交流 外国籍10名を含む657名が、さわやかな秋晴れのもと広い夢舞台の各所で思い思いの絵を描き上げると同時に、絵画を通じてお互いの文化などを相互に学ぶ機会となった。

## (3) 国際理解の促進

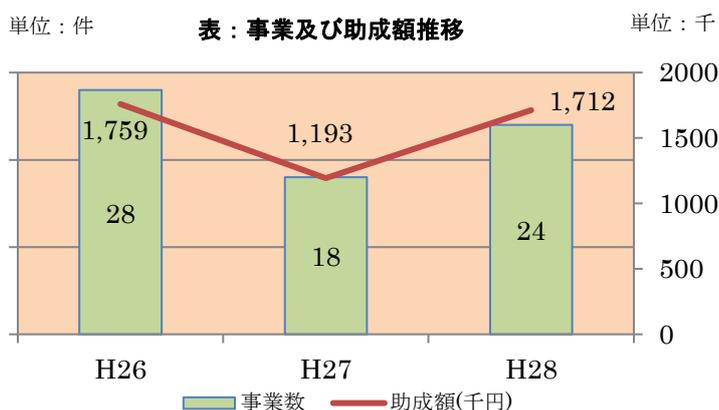
### ① 民間国際交流事業への助成(28 決算額 1,762千円)

#### 【実施状況】

県民レベルの国際交流活動を育成・奨励するため、NGO、NPO等の非営利活動団体が行う先駆的・先導的な国際交流事業を助成



写真：モンゴル火祭り in 神戸



**【事業評価】**

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成件数 24件</li> <li>○助成金額 1,711,518円</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内各地で県民主体の国際交流・多文化共生事業が展開</li> <li>○県内各地で行われた県民主体の国際交流・多文化共生事業を支援                  全県から公募した24事業に助成。県内各地で県民主体により実施されている友好交流や外国人支援に係る草の根レベルの取組の促進につながった。                  今後は、取り組み始めて間もない新しい事業にも幅広く支援するため、情報収集の強化と様々なチャンネルを通じたさらなる広報が必要。</li> </ul>

**② 国際交流団体等ネットワークの構築 (28 決算額 557 千円)**

**【実施状況】**

HIA が中心となり、各地域の国際交流に携わる団体・グループ間の連携の強化を促進するとともに、協働で諸課題に対処する国際交流団体等のネットワーク事業を実施



写真 左：ひょうご国際交流団体連絡協議会総会 右：防災訓練

**【事業評価】**

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひょうご国際交流団体連絡協議会総会の実施                  実施日：6月3日 参加者：80名</li> <li>○情報共有・発信事業                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、facebook の運営</li> <li>・「“応援しよう” ひょうごの仲間」の配信（月1回ペース）</li> <li>・「ひょうご国際交流メールマガジン」配信（月2回ペース）                      メールマガジン会員数 2,113名</li> <li>・ボランティア情報バンクの運営 など</li> </ul> </li> <li>○人材育成事業                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」講座の開催                      但馬地域（豊岡市）、播磨地域（播磨町）、阪神地域（尼崎市）</li> <li>・兵庫県南海トラフ地震住民一斉避難・合同防災訓練への参画                      日時：11月13日                      場所：淡路市、洲本市、南あわじ市</li> </ul> </li> <li>○地域別意見交換会等の実施                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内6地域において意見交換会及び講演会を実施                      （神戸、阪神・丹波、東播磨、西播磨、但馬、淡路）</li> </ul> </li> </ul>
----	---

<b>評価</b>	<p><b>○市町国際交流協会等とのネットワーク強化</b></p> <p>新規事業である「やさしい日本語」講座や県合同防災訓練への参画を通じて、会員団体の取り組みに資する事業を実施し、活動を支援した。また、新たに始めたfacebookの運営や「応援しよう」ひょうごの仲間」の発信など様々なツールを用いて、情報共有や相互の連携を促進した。今後も当協会が事務局として、情報発信や情報提供を行うことにより会員相互のネットワーク強化を図っていく。</p> <p>なお、会員団体間に財政面及び人材面で格差があることから、各団体の実情に応じた柔軟な事業展開が必要。</p>
-----------	---

**③ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト(28 決算額 143 千円)**

**【実施状況】**

国際交流員によるイベントを県内各地で開催することにより、県民に異文化に触れてもらうとともに、市町国際交流協会等とのネットワークを強化



写真 左：はじめての国際交流（加古川市） 右：宍粟市ふれあいまつり（宍粟市）

**【事業評価】**

<b>実績</b>	<p><b>○実施回数 13回</b></p> <p>相手方：市町国際交流協会、小学校等</p>
<b>評価</b>	<p><b>○兵庫県国際交流員が地域で活躍</b></p> <p>兵庫県国際交流員が自ら県内各地へ赴き実施する本プロジェクトは各地で人気の事業となっている。28年度は過去最高の実績となった。国際交流員にとっては県民と直接触れ合う貴重な機会であり、またHIAが市町国際交流協会の活動を支援する貴重なツールの一つとなっている。</p>

**④ 地域国際交流団体連携支援事業(28 決算額 1,030 千円)**

**【実施状況】**

「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体が他の会員団体や域外の団体と連携して実施する広域的な各種事業に対して助成金（対象経費の1/2）を交付し、ノウハウや情報の共有等のネットワークの推進



写真：シリア写真展(三木市)

**【事業評価】**

実績	○助成対象 三木市、たつの市、稲美町、佐用町
評価	○事業の定着化 実績数は昨年度並みとなったものの、写真展を2つの連携団体が時期を変えて実施するなど新しい形態の事業を支援した。 さらに活用しやすい助成制度とするため、会員団体が次年度事業を計画する際の一助となるよう、平成29年度事業募集を前年度末に行った。

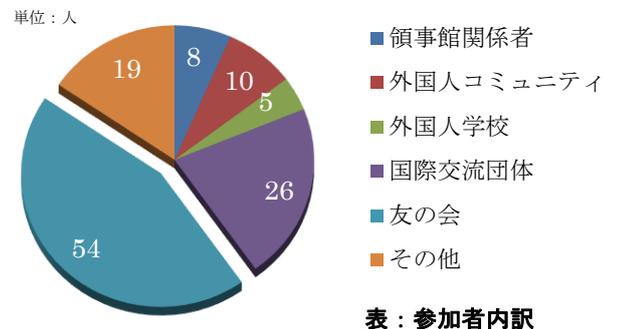
**⑤ 交流の集いの開催事業 (28 決算額 1,062 千円)**

**【実施状況】**

友の会会員を中心に、兵庫県の各地域の文化や、外国の社会や文化芸術を学びながら、外国人県民や外国人の団体と交流を図る「交流の集い」を開催



写真：交流の集い



**【事業評価】**

実績	○参加者 122名 (内友の会会員 54名) (在関西領事館、国際交流団体、外国人コミュニティ等) ○実施日 3月4日
評価	○県民一人ひとりが主役の国際交流の推進 県内の外国人コミュニティや二国間団体、関西領事団と連携を深め、県民の国際交流を促進する機会となっている。国際交流関係者と幅広く交流できる機会として、友の会会員の参加の比率が高い。

**⑥ 海外移住と文化の交流センターへの支援 (28 決算額 500 千円)**

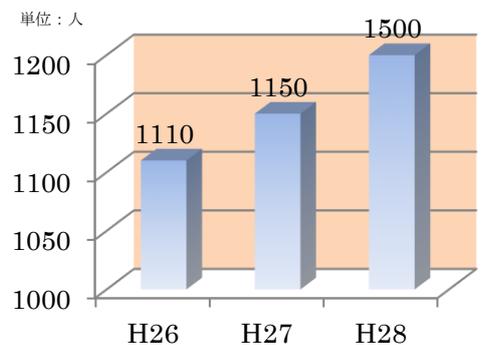
**【実施状況】**

神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をNPO団体等との協働で実施し同センターを支援

写真：サロン・カーナヴァウ



写真：ブラジル・日本子どもの絵の交流展



表：多文化交流フェスティバル参加者数推

【事業評価】

実績	○「ブラジル・日本の子どもの絵の交流展」 7月2日～9月30日 出展作品数 377点 参加者延べ約 1,000名 ○「サロン・カーナヴァウ」 2月26日 参加者約 500名
評価	○ブラジル文化の発信と交流を通じて、移住センターの利用促進に寄与。 “各地域の伝統的なお祭り”をテーマに、国内だけでなく海外からの子どもたちも参加する「ブラジル・日本の子どもの絵の交流展」を開催。期間中、延べ約1,000人が訪れ、センター常設展示も併せて観覧することで、ブラジル移民の歴史に触れてもらう良い機会となった。 2月には、ブラジル最大の祭りであるカーニバルを模したイベントを開催。約500名の参加者があり、日伯の交流促進に繋がった。

⑦ 広報紙 (Come HIA) の発行 (28 決算額 1,218 千円)

【実施状況】

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行



図 : Come HIA vol. 89-91

【事業評価】

実績	Come HIA ○発行回数 年3回 (8月、11月、3月) (計画 年3回発行) ○発行部数 各5,000部 Come HIA (電子版) ○発行回数 33回
評価	○好評につき増刷 各市町国際交流協会、県民局等に配付しているが、事業の紹介が多岐にわたっており分かりやすい等の理由から、追加送付の依頼が多数あったため、発行部数を従来4,500部から5,000部に増刷した。 なお、紙媒体は手に取りやすく分かりやすい反面、発行までに時間がかかるため、ブログ (HP掲載「ComeHIA電子版」) を多用する等、メディア特性に応じて情報提供を行い、即時的な情報発信にも対応した。

⑧ 国際関係団体への支援

【実施状況】

EU協会や日本国際連合協会兵庫県本部、兵庫県海外移住家族会の活動を支援することで、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりを実施

〈兵庫EU協会〉



写真：EUセミナー



写真：フランス・兵庫経済フォーラム

〈日本国際連合協会兵庫県本部〉



写真：模擬国連会議関西大会



ごあいさつ 兵庫県海外移住家族会 会長 東護 八郎

家族会会員の皆様、海外にお暮らしの皆様方いかがお過ごしでしょうか。今年も新春1月8日(日)に「コチア青年誌日語版」が海外移住と文化の交流センター(旧神戸移住センター)を控えました。70歳代になった元、毎年移住者4人とコチア青年の家計118名です。このセンターから移住した4人の方は当地の思い出に溢れる二、三出逢えられそれぞれの移住がなごめ過ごした日本暮らしの事を振り返っていました。そのうちの一人が神戸新聞社の記者の質問に答えて「日本出身の祖父は当時、僕と同世代。ここで勉強して出稼の目を持っていった」と答えていたのが印象に残りました。センター見学、日本食を頂きながら交流会の後、かつて移住が多に過ぎた神戸市街に到着。歴史的に築き上げてきた神戸市街の姿を少し体験しました。

センターから移住した人は約19万人です。誰のままだに保存、活用されているこの建物は移住者にとっては心あふれるとあり、三世代にはハーツをたどる上での貴重な場所になっています。日本に求められたいと云う人がブラジルでは増えているそうです。

今後は移住の受け入れはとくに重要視される。在日日系ブラジル人を支援する「FNPO 法人関西ブラジル人コミュニティCEK」(理事長松原マリ)が助めました。私と理事の長谷川さんはこの団体に所属していますが、これからもブラジルから来られる人たちの歓迎して行きたいと思っています。

毎年申上げることですが、このセンターが存続する限り私達、兵庫県移住家族会は頑張らなければなりません。これからも各界の皆様との交流をお願いいたします。

写真：海外移住家族会「家族会だより」

目次	頁
会長あいさつ	1
今年度事業紹介	2
平成28年度事業報告等	8

【事業評価】

実績	<p>○兵庫県海外移住家族会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会だよりの発行 200部</li> </ul> <p>○兵庫EU協会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多文化共生」を考える研修会 2016 (8月22日 参加者数 79名)</li> <li>・フランス(ノール県)・兵庫(関西)経済フォーラム (9月6日 参加者数 120名)</li> <li>・留学生が見つけた！兵庫観光発信事業(多可町)の共催(再掲)</li> <li>・EUセミナー (2月24日 参加者数 34名)</li> <li>・国際協力入門セミナーの共催 (3月11日 参加者数 73名)</li> </ul> <p>○日本国際連合協会兵庫県本部への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友の会バスツアー(北播磨)の共催(再掲)</li> <li>・国際協力セミナーにおける映画上映の協力             <ul style="list-style-type: none"> <li>「バベルの学校」 (7月2日 参加者数 71名)</li> <li>「スタッフ・ベンダ・ビリリ」 (11月3日 参加者数 70名)</li> </ul> </li> <li>・模擬国連開催の支援 (8月23日～25日 参加者数 223名)</li> </ul>
評価	<p>○EUや国連活動の支援</p> <p>講演や映画上映を通して、EUや国際連合等の活動について広報し、県民に国際問題や国際協力について考える場が提供できた。</p> <p>また、国際舞台で活躍できる青少年の育成、意識啓発にもつながった。さらに、HIA事業との連携を強めることにより、各協会の公益的役割の強化にもつながった。</p>

### 3 人づくりへの貢献

外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める事業を実施した。

#### (1) 外国人留学生の支援

##### ① 私費外国人留学生奨学金の支給(28 決算額 69,587 千円)

###### 【実施状況】

留学生の生活安定と学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し、奨学金を支給する。また、県下中小企業が今後の展開を図る新興国からの人材確保を支援するため、東南アジア地域等を想定したアジア新興国枠を設定した。



写真 左：受給者証交付式典 右：就活セミナー

###### 【事業評価】

実績	○支給額 月額3万円 ○支給人員 204名（一般枠延べ155名、アジア新興国枠延べ49名） （計画 一般枠150名、アジア新興国枠50名）
評価	○学業成就への支援の成果 「奨学金受給により、学業に専念できる」「留学生活で得た日本語能力を活かして母国と日本の架け橋になりたい」「協会主催の説明会を通じて、兵庫県のことをより深く知ることができた。世界に兵庫の魅力をアピールしたい」などの声が寄せられ、学業成果につながるとともに、今後の国際交流を担う人材の育成に寄与している。 ○就職活動支援の実施 奨学金受給者を対象に「奨学金受給者 就活セミナー」を大学コンソーシアムと共催。留学生の就職活動に一定の成果があることを関係団体が認識を共有。引き続き大学コンソーシアムの主体的な取組みとの連携を図る。 ○奨学金受給者OB・OGネットワーク化の推進 卒業後に国内に残る奨学生には県内就職等の支援を行っているが、帰国する留学生に対するフォローが十分でないため、兵庫県のGlocal infoを継続的に送付する等ネットワーク化に向けた対応を検討する。

##### ② 留学生住宅機関保証推進システムの推進

###### 【実施状況】

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金を貸付

**【事業評価】**

実績	○貸付先 留学生版安全・安心ネット連絡会 ○貸付金額 100万円
評価	○円滑な機関保証の実施 28年度内での利用実績はなかったものの、加盟各大学が円滑に機関保証を行うことに貢献した。

**(2) 人材育成**

① ひょうご海外研修員の受入 (28 決算額 3,656 千円)

**【実施状況】**

友好州省をはじめとする諸外国から研修員を受入れ、研修機会を提供することにより課題解決型の交流を促進



写真：研修修了証の授与  
(フランス・セヌ・エ・マルヌ県)



写真：最終報告会（ロシア）

**【事業評価】**

実績	○受入人数 5名 (計画 6人)		
	国名	受入期間	研修内容
	フランス・セヌ・エ・マルヌ県	6月23日～9月16日	デジタルコンテンツ製作
	フランス・セヌ・エ・マルヌ県	6月23日～9月16日	IT関連事業
	ロシア・ハバロフスク地方	7月1日～9月26日	国際事業運営
	中国・海南省	9月2日～11月11日	整形外科
	ブラジル	11月18日～12月20日	経営管理等
評価	<p>○技術の向上に資する研修プログラムの実施</p> <p>今年度は最長3ヶ月の研修を通じ、それぞれの技術の向上、人脈を広げることに大いに資する研修プログラムを実施できた。また研修先からも「受入を通じ、受入れた自分たちにとっても新鮮な刺激になった」、「逆に飛び込む勇気がもらえた」などの謝辞を得ている。</p> <p>しかし、研修員の日本語能力不足や研修分野に課題もあることから、今後はその人選にあたり改善に努める。</p>		

② セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進 (28 決算額 他事業で計上)

【実施状況】

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、  
両県民間の相互理解と友好関係を促進



写真：現地小学校における  
日本文化紹介授業の様子

【事業評価】

実績	<p>○日仏交流コーディネーターの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣期間 平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月</li> <li>・派遣人数 1 名 (計画 1 名)</li> <li>・派遣先 セーヌ・エ・マルヌ県内の教育機関及び、セーヌ・エ・マルヌ県 経済振興公社 (SMD) ほか</li> </ul> <p>○ひょうご海外研修員の受入れ(再掲)</p>
評価	<p>○両県間の相互理解の促進</p> <p>セーヌ・エ・マルヌ県からの研修員による兵庫県内企業等での研修活動や、兵庫県から派遣する日仏交流コーディネーターによる兵庫県情報 (経済、投資、観光、文化) 等の発信が、両県間の相互理解を促進している。</p>

③ 外国語指導助手 (ALT) を活用した人材の育成 (28 決算額 兵庫県教育委員会で計上)

【実施状況】

外国人指導助手 (ALT) を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバルな人材を育成

4 その他事業

① 篠原住宅管理事業 (28 決算額(賃貸収益) 16,272 千円)

【実施状況】

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設として有効活用

実績	<p>○所在地 神戸市灘区篠原本町</p> <p>○敷地面積 約 2,400 ㎡</p> <p>○建物 鉄筋コンクリート造 2 階建 3 棟 (1,374 ㎡)</p>
----	--

② 外国人児童生徒の居場所づくり [再掲]

③ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 [再掲]

④ セーフティネットとしての地域日本語教室開設事業 [再掲]

⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再掲]

⑥ 草の根の国際交流事業の推進 [再掲]

⑦ 地域国際交流団体連携支援事業 [再掲]

⑧ 交流の集い開催事業 [再掲]

⑨ 兵庫県海外移住家族会事業 [再掲]

